



社協だより

ほほえみ

No.40

2015年10月1日

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| P 2 | ■ 共同募金会からのお知らせ |
| P 3 | ■ 温泉宅配・認知症サポーター養成講座 |
| P 4・5 | ■ サマーチャレンジ! ~中学生ワークキャンプ・児童デイサービス事業~ |
| P 6 | ■ 合同なかよし会・災害義援金のお知らせ |
| P 7 | ■ 介護予防教室活動紹介 |
| P 8 | ■ 香典返し・心配ごと相談等事業 |

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
TEL 0968-34-2366・0968-34-2390



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

温泉宅配事業 ~なごみAG会~

9月2日(水)、農業後継者グループ「なごみAG会」(吉永初男会長 池田晴美女性部長)による温泉と弁当の宅配が実施されました。

町内のひとり暮らしの方に、三加和温泉のお湯を楽しんでいただくとう始まったこの行事も、今年で23回目の開催となりました。

㈱丸美屋様のご協力により、三加和温泉のお湯をいただき、2トラック4台にタンクを積んで、ひとり暮らしの方のお宅約80軒へと届けられました。

また、女性部は朝早くから旬の野菜をふんだんに使ったお弁当を作り、こちらもお昼に合わせて届けられました。

みなさん楽しみにお待ちいただいていたようで、温かい温泉のお湯とおいしい手作りのお弁当を堪能されていたようでした。

当日はAG会会員の方以外にも、青年団員、地域おこし協力隊、学生ボランティアの方々にもご協力いただき、スムーズにお湯をお届けすることができ、大変ありがとうございました。



和水平ボランティアセンターでは、“ボランティア活動をしたい人”と“ボランティアをお願いしたい人”との連絡・調整を行っています。現在9団体登録され、それぞれの分野で活動されています。
センターでは、新規の個人・団体の受付も随時行っていますので、まずはご連絡ください。

認知症サポーター養成講座 ~広がるオレンジリングの輪~

三加和中3年 9月11日



三加和中学校で認知症サポーター養成講座を実施しました。

誰にでも起こりうる病気“認知症”や高齢化社会問題に向き合うために必要な知識を理解しようと真剣な表情で学んでいたようです。

成長著しい生徒の皆さんには、これらの問題に対処できる人材に育ていただければと感じた時間でした。

福祉センター清掃作業 ~和水平身体障害者福祉協議会~

7月27日(月)に、町身体障害者福祉協議会の理事の皆様により、年に1度の福祉センターの草刈り作業が行われました。

昨年からの作業箇所も変わり、範囲も広がりましたが、早朝から皆さん慣れた様子で取り掛かっていただき、2時間程度で終了されました。暑い中本当にお世話になりました。

また、センター周辺や駐車場を草刈りなどをしていただいている地域住民の皆様には感謝申し上げます。



じぶんの町を良くするしくみ。 10月1日(木)~12月31日(木) 赤い羽根共同募金にご協力お願いします。

和水平町支会では、運動月間(10月~12月)にかけて、各世帯をはじめ、企業・店舗・職域・学校募金など様々な場面で募金活動を展開させていただきます。皆様から寄せられた募金の8割程度が、28年度の事業費として和水平町支会に配分されます。昨年度は、皆様のご協力により、目標額を上回る実績となりました。今年度の目標額は、**3,045,000円**です。一人でも多くの方のご理解・ご協力をお願い致します。

WHY? 赤い羽根共同募金って、どんな募金?

●昭和22年、戦後の貧しさの中で、ともに助け合って生きていこうという熱い連帯感から始まった、60年を超える歴史ある運動です。共同募金は、社会福祉法という法律を根拠として各都道府県を単位として行われ、災害時など例外を除き、集まった寄付金はその都道府県内で使いみちが決められます。つまり、寄付した方々の地域に還元される寄付金です。

WHY? 募金なのに、なぜ目標額があるの?

●共同募金は、集まった寄付金を特定の配分先などに単純に配分しているわけではありません。まず、民間の社会福祉施設や団体、社会福祉協議会などからあらかじめ配分の申請があがってくるから始まります。その申請内容について、その必要性・緊急性などを審査し、寄付者の方々に納得していただけるような配分計画をたて、その計画額を目標額として行う募金です。言い換えると、目標額は最小限度、これだけは是非必要だという計算から割り出された金額という事です。

WHY? 募金は、どんなことに使われるの?

●共同募金は、民間の社会福祉活動の資金として使われます。広域的には、県内の民間福祉施設や福祉団体などに配分されます。共同募金によって、民間の社会福祉施設や社会福祉協議会などの社会福祉の団体は、様々な活動が行えるわけです。そして、赤い羽根共同募金は、熊本県共同募金会が主体となり、その下部組織である和水平町支会によって実施されます。つまり皆様からお寄せいただいた募金は、**和水平町の福祉のために**役立てられています。

和水平町の主な配分事業

老人福祉活動費 44万円
ひとり暮らしふれあい招待会や老人クラブ連合会育成費など。地域または組織間におけるつながりの構築を図る。



児童・青少年福祉活動費 37.8万円
児童・生徒を対象とした児童デイサービスやワークキャンプ事業・福祉体験などの福祉教育の推進を図る。

母子父子福祉活動費 10万円
ひとり親家庭を対象とした事業で、参加者同士の交流や母子会への加入促進を図る。

ボランティア活動費 53万円
各ボランティア団体や町ボランティア連絡協議会など町内のボランティア活動推進のため。

総合福祉的事業 105.2万円
社協活動の広報・啓発活動を通して、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため。

ボランティアを通して
3年 観音 智安

今回の和楽荘ボランティアで色々なことを経験させていただき、ありがとうございます。

ボランティアを通して、私は福祉関係の仕事に就きたいと思いました。

今年で3回目になって、毎回思うことで、やりがいのある仕事だと思えます。

ボランティアでは食事の介助ばかりで、力になれることがそれぐらいしかありませんでした。

しかし、職員の方はそれだけではなく、休む暇もなさそうで自分が見ているのも大変だということが分かりました。ボランティアではやらなかったことも、やってみたくなりました。

今回のボランティアを通して、自分の福祉関係の仕事に就く意識が高まりました。もしも仕事に就くことになったら、この経験を生かしていきたいと思います。

一泊二日という短い間でしたが、ありがとうございました。

中学生ワークキャンプ事業 in 和楽荘



和楽荘に行つての感想
2年 山下 由桂

私は今回のワークキャンプで2回目となりました。去年とは少し違ったことが学べたと思います。

また、去年よりも楽しくできたのでよかったです。

一日目はデイサービスの方の食事に付き添いました。

職員の方に一つ一つ教えてもらいながら楽しくできました。百歳のおばちゃんもいてびっくりしました。

いろんな話題を出して、去年よりたくさん話げできたのが何よりよかったです。

一日目は入浴の後に髪を乾かしたりする仕事をしました。

この時も職員さんやおばあちゃんと色々話げができ、貴重な体験が毎年できるのでよかったです。

また、私はおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に暮らしているのので、これから今更だに学んだことが生かせるんじゃないかと思えます。

来年も参加できればいいなと思います。

夏休み児童デイサービス

小学1年～3年



今年の児童デイサービス事業(赤い羽根共同募金配分金事業)は、同学年の交流を目的に、7月28日(火)からの2日間を小学4年～6年生まで、30日(木)からの2日間を小学1年～3年生を対象に実施しました。初めて参加する児童も含めて、4日間で延べ193名の参加があり、いつもと違う雰囲気の中での学習や体験学習となりました。

午前中の学習タイムでは、隣同士で教えたり、中学生や実習生(大学生)に指導を受けながら、それぞれのペースで取り組みました。

午後からの体験学習では、こどもクロスロード防災編(柳原志保先生)、フラパルボールバレー大会、オリジナルキーホルダー作り、スライム作りに取り掛り、皆さんそれぞれにきちんと発表が出来たり、周りのお友達と仲良く製作活動が出来ました。参加者皆でお互いに協力し合うことで、また思い出が一つ増えたようでした。

最後に本事業の実施にあたり、関係機関の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

【協力団体】・ボランティアグループなごみ食の会(昼食づくり)・三加和中学生・大学生(九州看護福祉大学)

小学4年～6年



介護予防教室活動紹介～お茶の間筋トレ～



“自分の出来る事を出来るところまで無理せず頑張る”をモットーに、社会福祉協議会では、町より委託を受けて現在34地区で介護予防教室(お茶の間筋トレ)を実施しています。週1回の開催を基本とし、約90分程度の時間の中で、血圧測定や筋トレ、ダンス、レクリエーションなど参加者とボランティアスタッフ、職員が一緒になって活動しています。各地区の開催日は表のとおりです。見学は自由に出来ますので、皆さんお待ちしています!

今回は、以下の2地区を紹介します!

曜日	午前		午後	
月	焼米 西吉地	前原 山十町	大江田 平野	西口
火	下津原西 中岩	鷺原	本村 上和仁	
水	立石 長小田	上岩 下津田	藤田 寺山	春富集会 下久井原
木	志口永 米渡尾	緑 下岩	牧野 中和仁	日平
金	岩尻 野田	下津原東 上十町	上久井原 上津田	白石 東吉地

野田地区

登録 8名
野田公民館

毎週金曜日 午前9時30分～午前11時30分

和・話・輪

週1回の体操が楽しみで、金曜日に来るのが大変待ち遠しいです。

皆と一緒に和気あいあい。体操のおかげで腕もこんなに上がります。

地区の方、私達と一緒に体操をしてみませんか。公民館を通った時は声でもかけてください。



白石地区

登録 6名
白石公民館

毎週金曜日 午後1時30分～午後3時30分

初めから参加している人や途中来られなかった人もいましたが、また参加できるようになり、教室も10年が経ちました。

体を動かしながら、皆とお話をし笑いあって、帰るころには体も、気持ちも軽くなります。

地区の方、週に1回ではありますが、時間があるときは、体操に参加されませんか。

私達と一緒にがんばりましょう。



合同なかよし会



9月10日(木)菊水地区合同なかよし会を開催し、41名の参加がありました。講師に長洲町在住のレクリエーションインストラクター福田倫子先生を招き、脳トレや様々な曲に合わせたダンスを通して、日々の生活にメリハリをつける大切さを肌で感じてもらったのではないのでしょうか。

また、前号でもご紹介させていただきましたが、今年100歳を迎えられました、斉木アヤメさん(中原在住)から長寿の秘訣も伝えていただき、会場の皆さんからも盛大な拍手が起きていました。

当日は、終日全てが笑顔にあふれた一日となり、今度も参加者皆さんの笑顔が絶えないような時間と環境を提供できるように努めたいと思います。



災害義援金募集のお知らせ

共同募金会より

台風18号等による大雨により、家屋の浸水や倒壊等の災害が発生し、茨城県や栃木県、宮城県において災害救助法が適用されました。各被災のあった県共同募金会では、被災された方々を支援するため、下記のとおり義援金の募集を行うことになりました。

日本赤十字社より

台風第18号にともなう大雨により2015(平成27)年9月9日から11日にかけて、関東・東北地方などの広い範囲で人的・物的被害が発生しました。この災害で被災された方々を支援するため、下記のとおり義援金を受け付けます。

義援金の名称	受付期間		義援金の名称	受付期間	
茨城県台風18号等災害義援金	平成27年9月11日(金)から平成27年11月30日(月)まで		平成27年台風第18号等大雨災害義援金	平成27年9月11日(金)から平成27年11月30日(月)まで	
栃木県台風18号等災害義援金	平成27年9月14日(月)から平成27年11月30日(月)まで		金融機関/支店名	口座番号	口座名義
宮城県台風18号等災害義援金	平成27年9月16日(水)から平成27年11月30日(月)まで		郵便振替	0012-2-766741	日赤平成27年台風等大雨災害義援金
金融機関/支店名	口座番号	口座名義	三井住友銀行 すすらん支店	(普)2787520	日本赤十字社
肥後銀行 水道町支店	(普)1281400	社会福祉法人 熊本県共同募金会	三菱東京UFJ銀行 やまびこ支店	(普)2105515	
熊本銀行 花畑支店	(普)0025449	社会福祉法人 熊本県共同募金会	みずほ銀行 クヌギ支店	(普)0620286	

寄付御礼

H27年7月9日～H27年9月18日 受付分

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付を頂きました。ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

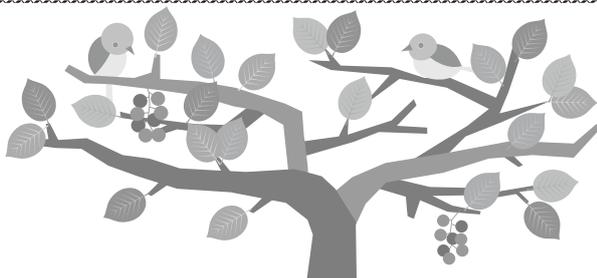
寄付者	物故者	行政区(住所)
吉永高明様	亡妻) 美都子	中和仁
丹後義雄様	亡父) 之義	鯖浦
江上栄次様	亡妻) キミ子	江栗
米森昭夫様	亡母) 斗至子	熊本市
山崎好弘様	亡母) ノブ子	大屋
満永重継様	亡弟) 正人	鶯原
隈部敏男様	亡母) ツユミ	下久井原
有働芳春様	亡母) アサ子	用木
岡崎露子様	亡夫) 家年	内田
貞熊敏明様	亡義母) 池田アサエ	中和仁
徳永はるよ様	亡母) 有働千鶴	焼米
陶山伸児様	亡父) 義雄	東吉地
竹村明美様	亡夫) 只司	下津田
池上光徳様	亡母) マツ	中十町
有働勉様	亡妻) 春子	焼米
荒尾政子様	亡夫) 繁利	住吉
平祐二様	亡母) 静子	野田
池田幸代様	亡夫) 健吾	馬場
猿渡順子様	亡姉) 大久保アイ子	馬場
黒原正昭様	亡母) テル子	下大田黒
内野忠行様	亡父) 強	上吉地
平久雄様	亡父) 勝市	住吉

善意寄付

下記の方々より、善意の寄付をいただき、ありがとうございました。寄付については社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇

◆匿名 2件



心配ごと相談・補聴器相談・法律相談

	10月	11月	12月
心配ごと相談	10月9日(金) 10:00～12:00 中十町公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	11月13日(金) 10:00～12:00 下津原西公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	12月11日(金) 10:00～12:00 福祉センター 行政相談委員1名 民生児童委員2名
法律相談	10月23日(金) 10:00～12:00 老人福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	11月27日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》	12月25日(金) 10:00～12:00 老人福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権 有) 《要予約!》
補聴器相談	10月16日(金) 9:00～12:00 老人福祉センター 熊本補聴器 センター対応		

社会福祉士相談援助実習終了



九州看護福祉大学 4年
谷川 隆一郎

今回の実習の中で、社会福祉協議会の事業や活動について学ぶことが出来たのはもちろんですが、地域の助け合いがいかに大事であつて、大変なのかを肌で感じ、貴重な体験をすることが出来ました。町内の方とたくさん触れ合うことで地域のつながりを拝見することが出来ました。

実習を通して、自分の知識の未熟さなどに気付かされるが多々あり、たくさんの課題を見つけることが出来ました。今後の学生生活で改善を図ると共に、残りの学生生活を楽しみたいと思います。



熊本学園大学 3年
徳永 晃大

社会福祉協議会での実習を通して、地域住民の方と数多く触れ合う機会がありました。高齢者の方は、皆さん若々しく、たくましく、笑った顔がとても素敵でした。こんな風に元気で過ごすことが出来るのも、社協のおかげだと思います。皆さんのように、充実した生活を送ることが出来るようにしたいと思います。

事業や訪問で関わった地域住民の方々を始め、職員の皆さん本当にありがとうございました。

編集後記

入職以来、実習生の担当をさせて頂いていますが、今年度初めて2大学同時に受入れてみました。毎年受入れていますが、実習生の年齢は年々離れていくばかりですが、実習生の皆さんの考えや思いを聞くことが出来る貴重な時間となっています。

学生同士も、お互いに刺激を受けながら過ごすことが出来た実習だったと思います。将来は、福祉の世界でそれぞれの信念を持って頑張っていだければと思っています。(石原)